

今月のテーマ 景観専門監

田上市長の 恋と恋と

～自らの思いを皆さんに語るコラム～

長崎市役所には「景観専門監」という全国でも珍しい職名があります。4年前に新しくつくったポストで、読んで字のごとく、まちの景観をよくするための監修やアドバイス、そして人材育成を行うのが仕事です。

このポストに就いてくれているのは高尾忠志さんという九州大学の先生。この4年間、週に一度のペースで福岡から長崎に来てくれてい



高尾景観専門監

ます。長崎市はいま、長崎駅周辺や市庁舎、出島表門橋など、大型施設の建て替えや建設の時期を迎えており、その二つの整備事業が景観の面からも長崎のまちづくりに貢献するものになるように、専門家ならではの力を発揮してくれています。また、大型施設だけでなく、市内各地の公園や道路や建物などを整備したり改修したりするときにも、さまざまなアドバイスをもらっています。

近では鍋冠山公園もその一つです。昨年の4月に新しい展望台が完成。以前より市街地に近くなり、風景を見る場所も広くなって、訪れる人にとっても好評です。今春には15台分の駐車場も完成。夏ごろには残りの駐車場とグラバー園につながる通路も整備される予定です。まだ行かれていないかたは、ぜひ一度出かけてみて下さい。稲佐山とはひと味違う素敵な夜景を観ることが出来ます。



深堀ふれあい広場

同じく今年の4月に完成したのが深堀支所の隣の広場。地元のみならずと何度もワークショップを繰り返しながらつくって来ました。深堀武家屋敷のシンボルでもある石塀を活かして、住民の憩いの広場になったり、駐車場として使ったり、ときにはイベント会場になったりするユニークな広場になりました。

た、今年は4月10日から運行を始めた水戸岡鋭治さんデザインの路面電車が長崎のまちにデビューし、11月には渡り初めをする予定の出島表門橋がお披露目されます。職員の育成にも力を発揮してくれていて、長崎のまちづくりの頼もしい味方です。

長崎市は3月末に国の「景観まちづくり刷新支援事業」のモデル都市に指定されました。これはすぐれた景観のまちづくりを、国が3年間集中的に応援してくれる事業で、選ばれたのは全国で10都市。九州からは長崎市だけです。

周辺地図
外海 港 伏
キリシタン
文化資料館

→西海市
黒崎中学校
カトリック
黒崎教会
道の駅
夕陽が丘そとめ
三重→

独自の祈りの言葉
オラショを記した冊子

宣教師が配ったとされる
ロザリオ

空き家を改装しています

ながさき
フチ
旅行

大切な歴史を伝える
外海 港 伏
キリシタン
文化資料館

出かけて
見る・知る
まちの
オススメ
スポット

「黒崎教会前」バス停のすぐ側に、今春完成したばかりの「外海港伏キリシタン文化資料館」があります。ここは外海地区の「潜伏キリシタン」の歴史を伝えようと地区の住民が作った資料館。中に入ると、地区に暮らす人々の先祖が外国人宣教師から授かった「ロザリオ」や、信仰を隠すために密かに唱えていた祈りの言葉「オラショ」を記した冊子など、およそ30点が展示されています。また、禁教期の生活や風習を伝えるパネル展示もあり、外海地区の歴史を知るうえで、価値のある貴重な資料ばかりです。資料館の開館時間などは9ページに掲載されています。あなたもぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。